

そこで、同社が金箔押し技術を活用した新たな事業展開を模索していたところ、その技術の高さがティファニー社のデザイナーの目にとまり、ティファニー社のジュエリーづくりに参画することになりました。これを契機として、仏壇や仏像などの金箔押しを事業の中心に据えつつも、京都市役所市章、祇園祭の装飾品、大阪城銅瓦、漆器の椀やお皿、バッグ、アクセサリなどの金箔加飾事業を展開されることになりました。

五明金箔工芸は、先代で二代目の五明治太郎さんが昭和初期に独立開業され、以来、仏壇の製造工程のひとつ「箔押し」の伝統技術を受け継ぐ事業所です。代表は三代目の五明昇さん。今回は後継者である四代目の五明久さんからお話を伺いました。

京仏壇・京仏具は、あらゆる伝統技能が集結した工芸品で、特に1万分の1ミリという薄さの金箔は、世界最高の技術といわれています。しかし、近年の伝統産業界をとりまく環境は大変厳しいといわざるを得ません。

「金箔押し」といっても、実は様々で、椀やアクセサリを手掛けるにあたり、度々、技術的な壁に悩まされたそうですが、その都度、他業種とのコラボレーションにより克服されました。湯浅部会長も「豊富な人材が集まる強み、これこそが京都企業の発展の一因かもしれない」と述べられました。

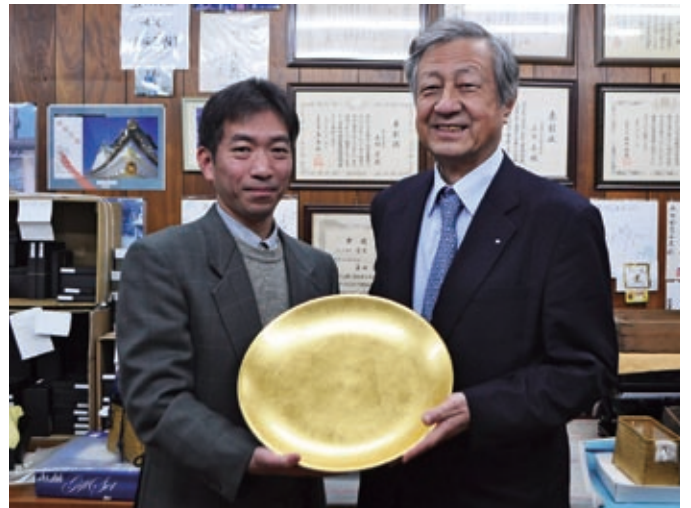
金箔加飾は「高級感」を演出でき、贈答品やアクセサリに適しています。また、中国や東南アジアでは、金色は幸運の証としてとても好まれ、昨年6月に上海にオープンした「日本京都館」や、東京での展示会でも大変好評を得ているとのことでした。

湯浅部会長も、「海外展開や展示会などで、京都商工会議所をはじめ、行政や京都産業21などの様々な制度を上手に活用されている」と感心され、「伝統産業の次代の展開に期待したい」とエールを送られました。



## 金箔加飾の技術で、新たな挑戦へ！

## 「コラボレーション」が鍵！



五明久さん(左)と湯浅部会長(右)

こんにちは！  
〇〇部会です

部会長の部会員訪問  
文化・情報部会編

# 箔押し技術を活用し、世界へ

五明金箔工芸

会員との“つながり”拡充を目的に、本所の12部会の部会長が部会員の皆様を訪問いたしております。今回は、文化・情報部会の湯浅部会長が五明金箔工芸を訪問し、同社四代目の五明久さんからお話を伺いました。

## 文化・情報部会のご紹介

〈部会長〉湯浅 圭一 (ジーク株式会社 代表取締役社長)  
〈部会員数〉1204件 (2013年2月26日現在)

文化・情報部会では、恒例となりました、踊って楽しむ夏の交流会「文化・情報部会のつどい」をはじめ、「視察見学会」や「園遊会」などを開催しています。毎回、文化の香りのする催しで、部会員相互交流の機会を提供。皆様のご参加をお待ちしております。

### 【年間事業予定】

夏の恒例交流会「文化・情報部会のつどい」  
不定期 「園遊会」「視察見学会」

### 【お問合せ】

文化・情報部会 事務局  
(京都商工会議所 会員部)  
TEL: 075-212-6441  
E-mail: school@kyo.or.jp